

目黒労協

2025夏季闘争ニュース

No.25-07 2025年6月1日

発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>

メール:union@r05.itscom.net



全労連など 第96回メーデー中央大会

働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう

2025年5月1日、代々木公園にて第96回中央メーデーに14,000人が参加(主催者発表)。

目黒地域からも、東京土建目黒支部、目黒区職労、公共一般目黒、めぐろユニオン、JMITU 目黒地域支部、目黒自交労組、JMITU 東日本三菱自動車、年金者組合、高砂自動車労組、東大生研職組、国民救援会目黒、目黒区労連、目黒労協などなど、100名以上が参加しました。



←東京土建目黒支部:恒例のデコレーションを先頭に



南部地域は恵比寿
に向け、ゲートを
くぐって出発→



全労協など 日比谷メーデー

働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守ろう

5月1日、議長は東京清掃労組、全国一般東京。挨拶に立った都労連



委員長は1988年の分裂メーデーに際して、都労連が呼びかけ、日比谷メーデーの母体が作られたことを紹介。続いて全労連・黒澤事務局長が同時開催の中央メーデー実行委員を代表して連帯の挨拶。

*(目黒労協 HP に収録) 参加者約3,000人(主催者発表)

日比谷野外音楽堂は今年より改築工事で、来年は使用できず。都労連関係や、東京清掃労組、都高協、国労、杉並区職労、23区事務組合労組など、日比谷野音会場をメインで、メーデーをむかえる労組も多数あり。目黒からも清掃労組、目黒区職労などの組合員が参加されていました。(目黒労協/事務局)

連合 第96回メーデー中央大会

次代につなぐ平和の願い！ みんなでつくろう 支えあう安心社会と確かな未来を！

2025年4月26日、ゴールデンウィーク初日の土曜日、連合メーデーが代々木公園で行われました。芳野連合会長からの主催者あいさつに続き、来賓は石破首相、福岡厚労大臣、小池都知事。石破首相は、「労働組合員でない人も含めすべての人の賃上げが必要！」と。現場からの訴えは、介護労働（サービス連合執行委員）、そして在日ビルマ市民労働組合会長から。

連合メーデーではデモ行進は無く、会場の各種ブースが大賑わい。こども広場はミニ汽車、今年はヤギやひつじも。ブースの中からILO事務所で「国際労総基準：ILO条約・勧告集」をGETしました。UAゼンセン「拉致問題」、「中野子ども広場」など各地のブースも。

＊主催者発表 29,200人参加 (目黒労協/事務局)

＊写真は会場で見かけた、区内労組関係ののぼり旗です。



5月3日憲法集会 天気良し3万8千人！！

未来は変えられる！戦争ではなく平和な暮らし！2025憲法大集会

5月3日(土)憲法記念日の日に、2025 憲法大集会＊集会実行委主催が、江東区・東京臨海広域防災公園で開催され、主催者発表で3万8千人が参加しました。この日は天候も良く、目黒地域からも労働組合や、団体・個人

個人も参加しており、会場で交流も。集会後は2つのコースに分かれ、デモ行進にも参加。(土建目黒支部./通信員)

メーデー・憲法集会参加者数 <2025,05 目黒労協調べ>					
メーデー主催者発表中央参加人員		全労連	連合	日比谷	合計
2025年		14000	29200	3000	46200
2024		14000	28000	2800	44800
2023		15000	28500	2800	43600
2022		2900	4800	3500	11200
2021	YouTube 視聴回数 (労協調べ)	8132	13927	2000	
2020	コロナ緊急事態宣言下	動画配信	Web開催	691	
2019		28000	37000	6000	71000
2018		30000	40000	7000	77000
2017		30000	40000	7000	77000



組合員増やしの取り組みに奮闘

パスコ労働組合

2025 年度もパスコ労働組合では、新入組合員の勧誘活動や歓迎会などの取り組みを積極的に行っています。今年度は新入社員 58 名を迎え、4 月 4 日に新入社員説明会を実施しました。しかし、定時時間外でしか説明の場を設けることができず、半数の社員が帰ってしまうという課題がありました。そのため先日、各支部にて個別に説明会及び歓迎会を実施し、組合の活動内容やメリットを詳しく説明しました。

現状、全国での加入率は約 10 名程度と低いですが、引き続き年間を通して中途採用者を含め、勧誘活動を続けていく予定です。特に、10 月の定期大会では中途や途中加入率促進のため、組合費を現状「入社後 1 年間無料」から、「加入後 1 年間無料」に変更することを議論中です。この変更により、より多くの社員が組合に参加しやすくなることを期待しています。

直近では 5 月に関東で BBQ レクリエーションも実施予定であり、こちらには新卒に限り非組合員も対象に参加を呼びかけ、積極的に勧誘活動を続けていく予定です。このようなカジュアルなイベントを通じて、新入社員が組合の雰囲気を感じ取り、参加意欲を高めることが期待されます。

今後も新規組合員を増やすことで組合の力を強化し、より良い職場環境の実現に向けて努力を続けています。
(パスコ労働組合/書記長)



目黒区職員労働組合

目黒区職労の、新規採用職員に対する、組合加入促進活動について報告します。

今年度より、区当局との協議により 4 月 1 日に行われる、区による新規採用職員オリエンテーションの会場入口に、組合勧誘のパンフレット及びグッズを置くことができるようになりました。それにより、パンフレットが新人の手元に渡る率は、これまでより大幅に上がったと思われます。

その後、活動内容・福利関係を中心にした組合よりの説明会を 3 回、初めての給料支給日のあとし、「給与表」の見方を中心とした、ファーストステップセミナーを 3 回行いました。一方、保育園など区庁舎ではない職場においては、区職労それぞれの各支部において、熱心な勧誘活動が展開されています。

(目黒区職労/労協担当執行委員)



東京土建目黒支部 春の拡大出陣式

4 月 25 日(金)の目黒本町社会教育会館で、目黒支部・春の拡大出陣式が開催され、50 人の組合員が参加しました。司会は学芸大学分会の、日下分会長です。佐藤忍執行委員長あいさつがあり、東京土建本部組織部長の石



川信一さんより、「仲間と信頼を築いて、組織づくりを元気に進めよう!」と題した、講演がありました。自分たちの組合をどう守り、大きくしていくか全員で理解して進めていくことが大事。そのためには、人間は直接会ってこそ理解を深める、という言葉に感動しました。笠松組織部長より方針提案があり、各分会から加入書の持ち寄りもあり、現在 47 人の新しい仲間が加入しています(*5/8 現在)。5 月末まで仲間のみんなとがんばります。

(東京土建目黒支部/通信員)

みんなの賃上げ・最賃UPへ!

第3次最賃デー 院内集会→渋谷宣伝

5 月 22 日の第 3 次最賃デー、全労連は国会議員会館で院内集会、各党議員参加のもと、日弁連より昨年最賃を 86 円引き上げた徳島県の調査報告を学習、集会後は議員要請も。3 時からパート・非正規労働者連絡会(パ非連)主催の集会が、渋谷ハチ公前で、最賃大幅引き上げ宣伝行動を行いました。

(目黒労協/事務局)



5 月 22 日 渋谷ハチ公前広場

河合塾ユニオンが 自由ヶ丘校舎前でストライキ

5 月 22 日(木)、河合塾ユニオン(横浜地区労内の「首都圏大学非常勤講師組合」の中の分会)が、目黒区・自由ヶ丘校にて、委員長が授業の最後 15 分間の時限ストを決行しました。事前に報道でこれを知り、自由ヶ丘校

に応援に行きました。テレビ朝日ほか報道陣も多数かけつけており。午後 4 時 25 分から 15 分間、校舎前の道路で集会を実施。賃上げの実施や、委託契約でも私学共済への加入、無期転換権を認めることを要求。塾側のゼロ回答にストライキに



5 月 22 日 河合塾自由ヶ丘校前

立ち上がったものです。

委員長は「講師として授業時間を失うのは講師として不本意。それでも 1 ミリも譲らない以上、ストを実施せざるを得ない」、「私たちは自分だけの賃上げを求めているのではなく、講師全体の底上げを求めている」と強調しました。応援には JMITU 目黒地域支部よりも参加がありました。(めぐろユニオン/通信員)

「2025 年 5 月 21 日(水) 自由ヶ丘校におけるスト・委員長声明」→

2025 年 5 月 21 日(水) 自由ヶ丘校におけるスト・委員長声明

私たちは、講師の賃上げ、社会保障への加入の拡大、「委託」講師の無期転換権を求めて河合塾理事会側と交渉してきました。しかし理事会側は頑なに拒否を繰り返し、今回のスト決行となりました。塾生の授業時間を失うことは、講師としては不本意です。それでも理事会側が、1 ミリも譲らない態度を変えない以上、ストを実施せざるを得ない、と判断しました。

今回ストライキを行ったことの最初の成果は、ストが実施できた、という事実そのものだと思います。「講師がストなんかやったら一発でクビ」と言った元講師の方がいるようですが、このスト実施によって、そういう「常識」が実は「非常識」であったことが示されたと思います。これも、きちんと報道してくださっているメディアのみなさん、見守ってくださる近隣住民のみなさん、そして注目してくださっている全国のみなさんのおかげだと思います。ありがとうございます。と言って、まだ闘いは終わったわけではありませんので、引き続き注目してくださるようお願いいたします。

私は先週の記者会見で、「みんなで幸せになろうよ」と言いました。私たちはこのストで、自分たちだけの賃上げではなく、河合塾の講師全体の底上げを、労働組合として求めています。

また、今回のストで挙げた問題以外にも、講師の他、河合塾の職員・学生スタッフのみなさんにもさまざまな理不尽が降りかかっていると聞いています。「そういうものだよ」とか「余所よりまだマシ」とか言ってるのではありません、力を合わせて理不尽は変えていきましょう。それが労働組合です。さらに今、日本中のあらゆる場所で「やりがい搾取」が行き着くところまで行っている感じがしますが、私たち塾・予備校業界はその代表例のひとつだと思います。今回も河合塾理事会側は、「塾生の学びの継続」を持ち出して、ストに対して「大変残念」などと言っていますが、「塾生の学び」を盾に、ストを牽制しようとする、これこそ「やりがい搾取」ではないでしょうか。

本当に「塾生の学び」を大切にする気があるのなら、それをもたらし講師、そしてサポートする、学生スタッフを含む職員の処遇をもっと真実に改善することこそ必要ではないでしょうか。

「生徒の学び」を盾に、おそらく私たち以上に劣悪な労働条件の下で働かされているであろう、全国の塾・予備校の職員・講師のみなさん。今こそ変えましょう。労働組合に結集すれば、こうしてストで闘うこともできます。力を合わせて「みんなで幸せになろうよ!」

河合塾ユニオン委員長